

林檎

岩手Mac友の会

Vol. 1, No. 2 1989. 4. 12

Iwate Macintosh Funclub

総会にむけて

いよいよこの会も発足して1年を迎えます。右も左も分からないまま始めた友の会も、皆さんのご協力によってだんだん活発になってきました。会をどのように運営していくかどうか分からないまま、なんとか月一回の例会だけは軌道に乗った形で一年を迎えようとしています。

最初に約束したとおり、一年一区切りで活動を反省し、今後の活動について皆さんと一緒に考えるための総会を開催します。

月一回の例会を活動目標にしてスタートしましたが、事実上分科会方式は有名無実になったようです。

でも、例会の方は皆さんのご協力で会を追う毎に活発になってきました。今のところサロンの部分と、セミナー的な部分を作るようにして開催していますが、計画性が無いなど反省すべき点がかなり有り、今後の進め方を皆さんと検討したいと思います。

初対面で遠慮がちだった会員同志の交流も、例会や忘年会を通じて親密になり、大分気心も通じできた今こそ、会員夫々がこの会を通じて何を、どのような形でこの会に貢献して行けるかを一緒に考えたいと思います。また、お互いに人柄も把握できているでしょうから、世話役なども改めて選任していただきたいと思っています。

こんなところが総会に向けて私が考

えていることですが、皆さんも色々意見をお持ちのことと存じます。ぜひこの機会に意見を出して、この会が益々活発になり、皆さんのために役立つものになっていくようご協力をお願いします。

Be Kind

マッキントッシュの魅力で真っ先に上げられるのがパブリックドメインソフト(PDS)でしょう。これはご存じのとおり、自由に皆さんでコピーして使って良いという、大変ありがたいソフトウェアです。これは開発者の好意によって支えられているものです。この膨大なPDSが有るおかげで、個人レベルのユーザーでも高価なソフトを買わなくても何とかマックを活用できたのです。

しかし信頼性や、バージョンアップサービスを考えると、製品版のソフトを購入することになります。

PDSに慣れてしまった我々は、ともしれば製品版のソフトを不法にコピーしてしまうことがあります。その理由としては値段が高すぎるとか、使ってみてからでないといけないといったことが言われています。

私達ユーザがソフトメーカーに願っているのは、性能の良いソフトを安く開発してくれることです。あるいはまた、英語版の素晴らしいソフトを日本語化して安く販売してくれることです。

そのためには何が必要だと思います

か?それは開発資金と情熱だと私は思います。良いソフト(少なくとも自分が愛用するソフト)は正規に購入してあげることがソフトメーカーに活力を与え、安くてより良いソフトが開発されて、我々の利益にもつながると思います。

このように、マックのソフトメーカー/ハードメーカーを応援することも、この会の役目だと思います。

「暗いと不平を言うよりも、進んで明かりを付けましょう。」..どっかで聞いたなあ。

...by 野村行憲

Inside

Apple Computer Japan	2
特集 アクラセラレータ	3
TO BE A LEARNER	5
自己紹介	6
山の花	7
きままなコラム	8
Art Gallery	10
私のMACライフ	11
Macと私	12
実質的会員になりたい	13
Mix Now	14
茶房	15
from BBS	16
余計なお世話	18
会員名簿	19
編集後記	19



からの手紙

平成元年3月23日

岩手マック友の会 会長
野村 行憲 殿

拝啓 先日はご多用中にもかかわらずご訪問をいただき、誠に有難うございました。ご返事が遅れましたこととお詫び申し上げます。

現在さまざまな形で、ユーザーの方々の運動が広まっているという話しを聞き、非常に心強く思っております。弊社といたしましても「岩手マック友の会」の発展を心よりお願い申し上げますと同時に、なにかのかたちでご協力・ご支援ができればと考えております。

アップルコンピュータジャパンは今年で設立6年目を迎えました。その間、日本でのマッキントッシュ・ユーザーは着実に増加し続けており、またマッキントッシュは確実に日本市場に定着して参りました。これからもアップルらしい製品を世に多く送り出したいと考えておりますので、どうかご期待下さい。

「岩手マック友の会」の今後のさらなる発展を心よりお祈り申し上げます。また、今後とも弊社ならびに弊社製品を何卒宜しくお願い申し上げます。

敬具

アップルコンピュータジャパン株式会社
代表取締役 副社長
堀 昭 一





...by 徳富巨

アクセラレータの使い勝手を比較してみました。

Prodigy4にはそつが無く、うまく動けば RadiusもなかなかでMacIIもたじたじ

Macを取り巻く環境が日増に良くなってきているようで、喜ばしい限りです。

特にハードウェアの面でのスピードアップと大容量化には特筆すべきものがあるようです。

大容量化と言えば、光磁気ディスクドライブなど技術の進歩と1Mbあたりの単価の低下には眼を見張るものがありますが、スピードアップということでは何と云っても68020を用いたアクセラレータを忘れることはできません。

一番最初にMac用のアクセラレータが登場してから、かれこれ3年になります。当時は値段も高く国内で買うと120万円位もしていました。

今では各社から高性能低価格のアクセラレータが登場し、利用者も増加して来ているようです。様々な雑誌に

様々なアクセラレータが取り上げられ、その性能について個々にベンチマークなどがなされているようです。

しかし、いくつかのアクセラレータを多方面から、比較したものはあまりありません。

そこで、実際の使用になるべく近い状況を再現できるようなテストを実施して、アクセラレータをより身近なものとして比較してみました。

比較した機種は次の7種類です。

- MacPlus 2.5 Mb
- MacSE 2.5 Mb
- MacPlus 4 Mb + Radius 16MHz
- MacSE 4 Mb + Radius 16MHz
- MacSE 4 Mb + Radius 25 MHz
- MacPlus 1Mb+ Prodigy 4 16MHz
- Mac II 4 Mb

詳しい動作原理や、微妙な性能比較

は専門誌にお任せするとして、取り敢えず次のようなテストをしてみました。

測定方法

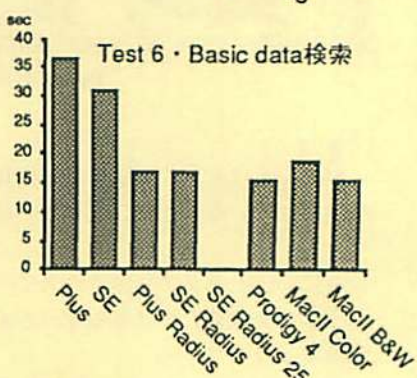
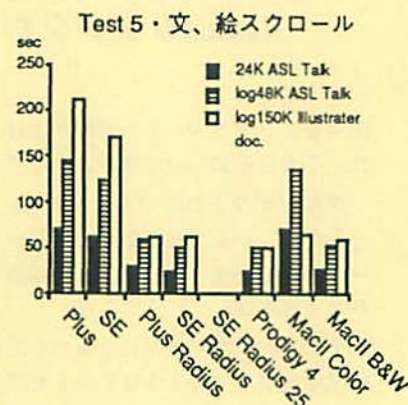
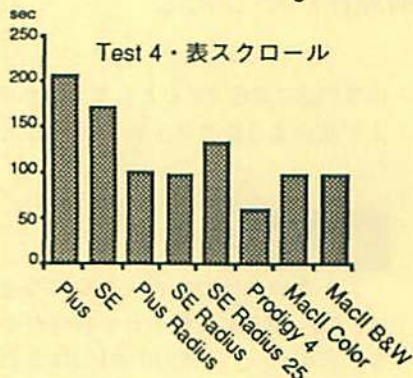
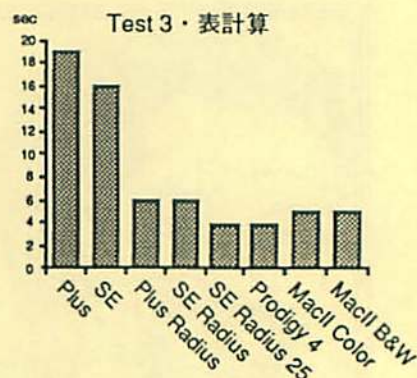
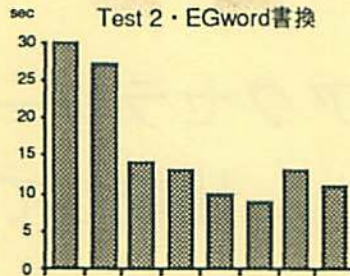
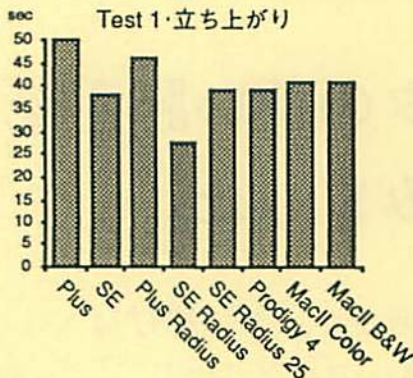
データの入出力やデータ検索などは、HDの速度に影響される部分がかかなり大きいので、使用するHDはただ一台のXP60としました。これはMacの機種の違いに応じて自動的に運転状況を設定してくれるので、今回のように、さまざまな機種で使うのには大変好都合でした。XP60の中に予め用意しておいたSystemFolderとアプリケーションならびにそのdocumentを使って、後で述べるテストを行い、スピードを比較しました。

なお、各MacとXP60との組み合わせで得られる read, write, seek timeはDiskTimer IIにより計測しました。数値の単位の詳細は不明ですが、少ないほど良いということです。

表1

テスト結果

テスト項目	テスト内容	Plus 2.5Mb 8MHz	SE 2.5Mb 8MHz	Plus Radius 4Mb 16MHz	SE Radius 4Mb 16MHz	SE Radius 25 4Mb 25MHz	Prodigy 4 4Mb 16MHz	Mac II カラー 16MHz 4Mb	Mac II 白黒 16MHz 4Mb
68881	演算CPU	non	non	in	non	in	in	in	in
reads	HD speed	54	55	80	38	39	68	35	35
writes	HD speed	58	55	132	38	37	91	34	34
seeks	HD speed	11	11	11	11	10	11	10	10
Test 1	立ち上がり	50	38	46	28	39	39	41	41
Test 2	EGword書換	30	27	14	13	10	9	13	11
Test 3	表計算	19	16	6	6	4	4	5	5
Test 4	表scroll	206	170	101	100	133	61	100	100
Test 5-1	24K文書scroll	74	64	31	27	*	27	73	29
Test 5-2	48K文書scroll	147	126	60	51	*	52	138	56
Test 5-3	150K PS scroll	212	172	64	65	*	51	68	61
Test 6	Basic data	37	31	17	17	*	16	19	16
Test 7	Switcher	ok	ok	ok	ok	ok	ok	cannot	cannot
Test 8	16 bit 復帰	16bit only	16bit only	16bit only	by software	by software	by hardware	32bit only	32bit only



比較テスト

【Test 1】立ち上げ時間

リスタートでポーンと鳴ってからFinder画面が出るまでの時間を計測。

【Test 2】書き換えテスト

ワープロソフト「EGword-3」を立ち上げ、「岩手Mac友の会」を1200回コピーして、「置換コマンド」を使って「○○○○○○●」に書き換える所要時間を計測。

【Test 3】表計算テスト

Excel1.5を立ち上げ、縦100行、横52列に次の様な計算式を入れて計測。→左上のA1のセルに入力した数字を2倍したものを、右隣のセルB1に入れる。次にB1のセルの値をその右隣のセルC1に入れることを51回繰り返す計算式を作る。次に、縦の計算式は、あるセルの値の平方根を取ったものを真下のセルに入れる式を、100行52列のセル1番上の行を除いて入力した。このようにすると、左上のA1のセルに値を入れるだけで5200回連続して計算が続くことを利用して、処理時間を計測。

【Test 4】エクセルのセルポインタの移動時間

表計算ソフト「Excel」を立ち上げ、データや計算式を未入力の状態でもカーソルを下方に1000行移動させるのにかかる時間を計測。

セルの大きさはデフォルトのまま、横1セル、縦10セルになるようにしてwindowの大きさを一定にし、ポインタの移動はリターンキーによりました。

【Test 5】画面スクロール時間

24Kと48Kの2つのASLTalkのLog fileを用いたものと、Illustratorでつくった150KのdocumentをPreviewモードで上から下までスクロールするのにかかる時間を計測。

【Test 6】Basic によるシーケンシャルファイルの検索スピード

HD中の既存の自作シーケンシャルファイルを検索し、検索回数と所要時間を自動表示するプログラムをつくって計測。

【Test 7】ソフトの互換性

Switcherが走るかどうかを確認。

【Test 8】16bitへの復帰

16bitに戻る方法と戻った時のRAMなどについて。

結果

すべての検査の結果を前ページの表に、そのうちの主な項目はグラフにして上図に示しました。

Disk Timer IIによるハードディスクのテストの結果ではPlusRadiusとProdigy4が他からズバ抜かれて遅いのが印象的でした。

Test1ではSERadiusが段突に速かったのですが、動作がやや不安定で、何度かまったく動かなくなりました。

Test2では巷で言われるアクセラレーターの性能がそのまま出たという感じで、SERadius25とProdigy4がわずかに速い感じでした。

Test3ではコプロセッサの有無による違いが感じられませんでした。よほど複雑な計算でない限り違いがでないのかもしれませんが。

Test4ではProdigy4が段突に速く、SERadius25はFullPage Displayを付けているためか、期待に反して32bitの中では一番遅い成績でした。

Test 5-1,5-2では32bitはどれも同様

に16bitの倍ほど速かったのですが、MacIIでカラースクリーンを使うと倍ほど遅くなりました。Test5-3ではPostScriptを計算するためか、スクリーンの状態にはあまり左右されませんでした。

Test6ではHDのread timeに依存するだろうと言う予想に反し、CPUの演算速度に依存した結果となりました。

Test7ではSwitcherが動かないのはMacIIだけでした。

Test8ではSERadiusが、ソフトで、簡単に切り替えられるので便利でした。Prodigy4ではResetとResumeボタンを同時に押さなければならず、また難すタイミングもちょっと難しいものでした。

アクシデント

この企画の目玉商品とも言うべきSERadius25のオーナーは、同社のフルページディスプレイを付けて使用しておられました。Test4の成績が芳ばしくなかったのですが、それはこのディスプレイの影響かもしれないと思い、スクリーンと分離して走らせるように設定し直していただいてから再度測定しようと思ったのですが、設定変更中にXP60がトラブルをおこし、それ以後のテストができなくなってしまいました(表1,*)。補修用のフロッピーを持参しなかったのは大変な手落ちであり多めに反省しております。

しかし、たとえ多少のスピードダウンがあってもページ全体を一望にできることや、MultiFinderを非常に有効に利用できることで、仕事全体からみると大変なスピードアップ、能率向上が得られていることを体験させていただきました。

まとめ

テストを終えて感じたことを簡単に言うと、MacIIは流石で、Prodigy4にはそつが無く、うまく動けばRadiusもなかなかだということですね。特に、SERadius 68881無しのタイプは操作性も良く、値段も割安で、抜群のコスト

English Column by Richard L. Lammers

TO BE A LEARNER - always....

It is said that Abraham Lincoln was an eager, enthusiastic learner. He would walk many miles to borrow books to read. He had to study by the light from a candle or the light from the fireplace. Using a shovel to write on, he would practice his numbers. He is remembered as one of the great presidents of the United States. We are told that he said... "We must learn one new thing every day."

After World War II it was said that if a Japanese person was given a choice between a book and a plate of food the choice would often be the book, in spite of being hungry due to a lack of sufficient food. Today most of us are inclined to want the food before the book in spite of the fact that we are already eating more than we should.

About 3000 years ago a man named Solomon wrote a collection of wise sayings. He gave the reason for writing as....

"That man may know wisdom....that knowledge and discretion (may be given) to the youth...

...(that) the wise man also may hear and increase in learning and the man of understanding acquire skill."

There is no one so wise that he has no need of learning more. A person of understanding can always acquire new skills. Too often we think we know everything and want only to be 'the teacher'. But a good teacher is at the same time a learner. A good teacher questions even his own knowledge and understanding, always seeking to know more.

To be a learner....always is a worthy goal.

パフォーマンスであると感じました。

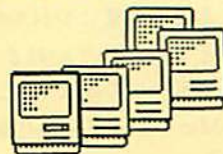
また一般に、Plusの何倍だとか、SEの何倍だとか、MacIIの何倍だとか言うことで、速さを表現していますが、仕事の内容によって、またスクリーンなどの組み合わせによって、実用上のスピードも実に様々であり、そう簡単には、把握仕切れないことが良くわかりました。

日本語DTPの充実やMultiFinderの熟成などによってどんどんLarge Screenのニーズが高まっていくと思いますが、これらとの相性を充分考慮に入れると、より素晴らしい効率でシステ

ム全体を動かして行けるようになると思います。

今回、こういう比較がこんなに自由にできましたのは、友の会の多くの皆さんの深い御理解と暖かい御協力があればこそと存じております。

とりわけ佐藤さん、中島さん、荒木さん、香城さん、そして夜遅くまで、お付き合いいただいた野村さん、本当にありがとうございました。



自己紹介

第一号に引き続きユニークな会員の紹介をさせていただきます。興味を持った方はぜひ一度メールを送ってみてください。

お尋ねした内容は

- 1、名前、生年月日
- 2、BBSのID番号
- 3、職業
- 4、住所、電話番号
- 5、MACの機器構成
- 6、趣味
- 7、この会の会員へのメッセージ
- 8、自己アピール



- 1、熊谷 朋也 (Tomoya Kumagai)
S39.6.6
- 2、90MAC008
- 3、ICS
- 4、020 盛岡市中太田官台47
- 5、MacPlus(2.5MB)+FannyMac+ExternalDrive+HyperHD(20)+Modem(1200)
- 6~9、特に決まった趣味というのはありません、しいて言えば「新しいことに挑戦する」ことですかね。私はMacを仕事では使っていないので、なかなか使いこなすというところまではいきません。ですからBBSを眺めていると、非常にレベルの高い内容がありとてもついていけません。SBシリーズもいつの間にやら...これから私は、Macをかみさんの仕事に使ってみて、

どの程度やれるか試してみたいと思います。

- 1、菅野 卓矢 (Takuya Kanno)
- 2、昭和 23年 (1948年) 12月3日
- 3、コンピュータ屋 (通称SE)



- 4、〒020 盛岡市菜園2丁目8-35
Tel 0196-22-6454

5、Mac SE(HD)+ImageWriter III
+AIWAモデム1200MkII
Macでは仕事から、提案書を作成したり、技術文書を作成するのが主で、会社の机の上に置いて使っています。ソフトウェアは、文書作成にEGWord、アウトラインプロセッサにVoilを使用しています。

最近会社で買ってもらったEGWordは使い心地が非常にいいので、この文書作成にも使用しています。プレゼンテーションには絵なども必要になってくるので、絵を描くときはCanvas2.0やマックドロ-IIを使用し、ページメーカーで編集しています。なかなか便利だと思いがらついています。

この環境は他のパソコンでは味わえないものがありますな~。

- 1、伊崎 誠一 (Seiichi Izaki)
- 2、昭和24年(1949年)3月4日
- 3、医師
- 4、本年4月1日より岩手医大より下記に転勤

〒350 川越市鴨田辻道1981
埼玉医科大学総合医療センター



皮膚科 講師

Tel 0492-25-7811

- 5、MacSE(HD)+ImageWriterIIJ+SheetFeeder

最近ほとんど無趣味です。Macを主に仕事につかっていますが、ほとんど英語のシステム+SweetJamで使用しています。

仕事から英語と日本語が混在してくる資料や文章が多く、漢字TALKよりも重宝しています。使用するアプリケーションはMacWrite、HyperCard+Report、たまにSuperPaintというところで、使いこなしている状態とは恥ずかしくて言えません。ゆっくり進歩していくつもりです。 よろしく....

- 1、香城孝磨 1958年5月23日
- 2、90Mac016
- 3、岩手医科大学脳神経外科(現在は大学院で生理学教室にいます)
- 4、020岩手県盛岡市天神町4-8
天神コート103
Tel 0196-23-2184

5、Mac SE(20MHD)+4MRAM+Radius Accelerator16+ImageWriterII-J+ThunderScan+CMRONHS10R(HandyScanner)+アイワ1200bpr Modem (IICX欲しいです)

- 6、酒を飲むこと&乱れること、Mac、8mmVideo、チンチロリン、花札
- 7~9、Macを使い始めてやっと1年ちょっとですが、その間にMac友の会の皆さんと知り会えてとても良かったと思います。仕事を離れて全く毛色の違う人達とMacをネタに話ができるのはとても



も楽しいですね。月一回の例会ではもの足りないです。ところで私のMacの主な使い道は実験Dataの分析・作図、日英ワープロ、および通信です。現在それらをすべてMacで処理することによる総合的なManagementを目標としております。今はまだ、将来に備えているというところ。最近漢字Talk

でMultiFinderを使って作業したいと切に希望していますが、まだまだできないのでしょうか？今度は海外通販をやってみようと考えています。

- 1、荒木健次 (あらきけんじ)
- 1958年6月13日生まれ
- 2、10zz0035
- 3、時事通信社、経済一部記者
- 4、東京都中野区野方1-41-1時事通信社宅302号
- 5、SE(2FD)+40MbInnerHD+ImageWriterII-J+modem
- 6、基本的にありません。
- 7~8、短い間でしたが、本当に楽しい思いをさせていただきました。ありがとうございましたと大きな声で言わせてください、「ありがとうー!!!」。東京に行ったら、IMFの東京特派員としてまた、いろいろ働かせてもらいます。お越しの



際は是非、お立ち寄り下さい。お待ちしております。

- 9、パソコン通信とそのログ整理にASLTalk, Ninja Term, Hyper Cardを使っている。また、この前、佐々木さんに作ってもらったH.Cのパーソナルデータベースのスタックで、しこしこ書いたものをまとめていきたいと思っています。



山の花

...by 佐藤護人



雪の少ない冬らしからぬ冬でしたが、福寿草の黄色い花を見、春蘭の芽を見ると、去年の九月からじっと待っていた山の花の季節も、もうそこまで来ていると感じワクワクしてきます。四月末ごろ雑木林に入ると落ち葉の上に春の陽光を浴びて、赤紫の花弁を反り帰らせたカタクリが咲き始め、春の軟びに満ちあふれ、まさしくスプリング・エフェメラル(春の女神)であることを実感します。

昨年偶然にも小川に沿って咲いているカタクリの大群落を見つけました。長靴をはいて小川をさかのぼって行くと、行き止まりの片隅に沢山の赤紫の花の中に白い花を見つけました。白花は大変珍しくなかなか出会うことはでき



ません。前日、本で白花カタクリの写真を見ながら「一度でよいから見てみたい」と思っていたものを目の前にして、興奮を抑えながらシャッターを切りました。その一枚がこの写真です。今年も是非同じ場所で会いたいものです。

五月末から本格的に山の花の季節です。可憐なヒメコザクラ、上品なサンカヨウに始まり色々な花のことが思い出され、この花にはこの角度から、あの花の時は絞りを絞ってなどと思い巡らしていると、Macからカメラに眼が行くようになってきました。今年も一枚でも二枚でもよいから気に入った写真を撮りたいものです。



第二回 「リンゴがくれた夢」

前号の内容は車の自称エンズーである私にとって例えて言えば、「オイルレベルチェック、各部作動点検」程度のもので、今回からいよいよ「エンジンに火を入れる（いい言葉だなあ）」事にいたしましょう。アクセルの踏み込み具合はこの「林檎」のパワー次第かな・・・？てな訳でとりあえず出かけましょう。（比喩と現実が錯綜して、本当にスッポカシて出かけたら、ゴメンナサイ！）



■ 私とアップル...

というよりマイクロコンピューターとの出会いというのは今から13年程昔にタイムトリップしなければなりません。今考えると、どのような経緯を持って自分が学生時代にコンピューターに興味を持ったのか不明確な点がとても多いのですが、何れにせよ「コンピューターなど一般の人に無縁だった」時代である事は間違いなさそう（比喩と現実が錯綜して、本当にスッポカシて出かけたら、ゴメンナサイ！）です。当時国内ではNECがTK-80という、現在の感覚からすると「マイクロコンピューター」と呼べる代物ではない（LEDがついた基盤だけの単純なもの）製品が「画期的」であった、そんな時代でした。それはとても我々の生活や仕事の良き友としてのコンピューターをイメージさせるには余りにかけ離れた印象のものでしかなかった・・・それとは逆に当時の米国の製品は大変なインパクトを私に与えました。これこそが自分のイメージするコンピューターなのではないか？スタートレックのカターが使っているのはこの様なものである筈などと・・・それが当時アメリカでしのぎを削っていたメーカー達、「IMSAI（ウォーゲームという映画でジャリのハッカーが使用していた）」、「タンディー」、「コモドル（PET・・・パーソナルエレクトリックトラン

スアクターの略です。この言葉、私は大好きです）、そして御存じ「アップル II」が登場したのもこの時期にあたります。皆個性豊かでエキサイティングな存在でした。PETは未来を先取りしたスタイルで魅力的だったし、タンディーは「日本のナショナル！（「パナソニック」では決してなく。わかりますか？この感じ）」といった家電的な割り切りを持っていたし、それぞれが皆明確なアイデンティティに溢れていました。そんな中でアップルというマシンが私に投げかけたサイン・・・一体それは何だったと思いますか？それは「おとぎ話の様にキラキラした夢」でした。カラーグラフィックスも当時



としては素晴らしいものだったし、何よりも会社のマークが、「かじった林檎の絵（禁断の果実を食べる事を連想させませんか?）」で表現されており、不揃いのレインボーカラーが見事な調和を予感させ、そして決して未来的ではないけれど「これなら近くに置いても不自然でない」程度のデザインと柔らかくで優しいようなボディーカラー・・・自分が「使ってみたい、傍に置きたい」と思わせるに充分な「夢」がそこには

ありました。（こういう感情って殆ど「恋愛」みたいなものかも知れません。優しさを知っている人にはきっと理解できると思います）ただし、現実にはそれは「夢」であり、「プラトニックラブ」でしたが。何故なら当時学生だった私には、とても手の出るような価格ではないという現実がそこにあったからです。（16KB！のRAM実装のフルセットで60万円位だったと記憶しています。）「欲しいなあ、使ってみてみたいなあ」と子供が欲しいものをじっと見つめるのと寸分違わぬ姿で立ち尽くした自分を今でもはっきりと覚えています。アップルが私にまるで「子供に立ち返る疑似体験」を味あわせてくれた

（例え、それがかなわぬ夢であっても）、きっとアップルには「夢」を発する何かが最初からあったに違いない・・・そう思います。夢から始まって、結果がベンチャーだったのだろうな・・・と今はそう理解しています。

さて、私にとってアップルのコンピューターは「まるで吉永小百合に憧

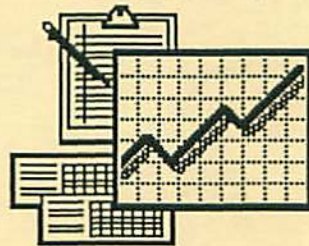
れる（これは単なる比喩です。私は芸能人に全く興味はありませんから）」といった「密かに想い続ける存在」になり、次第に残存記憶の一部となりました。そして、7年間という空白の時間が過ぎて行きます。

■ それから7年後

つまり今から6年前、私は自分の専門外の、全く未知の仕事に取り組んでいました。病院の経営学（財務、労

務、人事管理)を実践することがそれに当たります。損益計算、資金操、試算表、各種勤務表、各種規程・・・当病院には残念ながらその分野を管理できる人間がおらず、「お前やれ」と言うことになったのです。私は心電図の勉強はしましたが、経営管理についてなど勉強したことはありません。(基本的に私は勉強が嫌いです)それでも、何にでも興味を向ける好奇心の塊を自負する私は引き下がる訳にはいきません。私が「ジュダイ」だとしたら、「帝国」は伊藤忠商事であり、三井信託銀行だったのです。毎晩、毎晩、自分でも信じられないほどの徹夜が続きしました。(タフな教育を医学部では受けましたが、そのレベルすら遥かに越えていたと思います。)方法論は総て手作業です。原稿用紙に書く、集計用紙に線を引く、数字を電卓で計算する、の繰り返しが続きました。しかし、間に合わない!仕事に間に合わないのです。自分の能力の限界に殆ど絶望していた、ちょうどその時、出入り業者の一つが「ワープロを使ってみませんか?」というアイデアを持ってきたのです。これは自分自身にとって一つの転機であり、救いでした。「キーボードアレルギー」など問題ではありませんでした。1週間に1業者1台というデモ作戦を展開し、(奇抜なアイデアでしょう? お金が無いときはこれが有効です。)少し、時間にゆとりが出てくるようになりました。そして、「どうしてゆとりが出たのかな?」と考えてみる様になりました。更に「これをヒントにしてもっと、もっと効率的に仕事をこなせないかな?」と考える様になりました。ここで「効率的」というのは単に事務処理の流れをさすのではなく、「創造的に考えるゆとりを持つ」事を意味します。落ち着いた上で、仕事の量と時間、そしてその内容を分析して見ると驚くべき事実が浮上してきたのです。全仕事量の中で「修正、変更をホワイトと消しゴムで行う時間」が大半を占めているではありませんか。正式に提出する、しないは別としても私は常に「仕事を美しくこなしたい」という信

念を持ち続けていますから、それ故にその作業に時間を多く費やす事は極く自然に理解できるのですが、しかし、それではクリエイティブに仕事を組み立てる時間が絶対的に足りなくなってしまう。「何故、ワープロを使用した結果、考える時間を持つゆとりが生まれたのか?」についても自然と納得することが出来ました。徹夜をしたくないではありません。そのような事はむしろどうでも良い事です。問題は、限られた時間内に行える自己の仕事に対するクリエイティブな価値についてであり、その時、初めて「コンピューターを道具としてどの様に利用して行けば良いのか」について自信を持って答えを出すことが出来ました。こうして、私は病院内で唯一人コンピューターを使う人間となりました。ただし、それは私が「変な人!」と評価されるスタートでもありました。



■ アップルとのやさしい関係

機種設定の段階では何も迷うことなどありませんでした。過去の残存記憶が既に私が使用すべきメーカーを決定してくれていたのです。

「アップル...」その優しい響きのみが私の使用すべきコンピューターに関する総てを支配していました。それは「IBM」でも「NEC」でも無く、単純に「Apple」でした。自然にとっても自然な結果として私は「AppleIIc」を購入し、「AppleWorks」という統合ソフトで仕事をこなすようになりました。日本語環境など全くありませんでしたが、問題となる内容は数字や予測といったものでしたので私自身がプレゼンテーションをし、その説明をするという、言わば分業体制を取りました。それでも私にとっては自分が昔抱いた「夢」

を現実のものとした喜びと、少しでも仕事の内容について振り返る時間を与えてくれた「林檎」に対し頼もしさを感じました。愛すべきパートナーに向ける優しさと同じような感情を機械に向けることが出来たのです。そして、それは総て昔体験した「林檎が食べたい」と言う夢がスタートとなっており、その夢は私に「決して諦めない姿勢。夢を自分の努力で夢としない。」事を教えてくれました。私の人生にとっての一つの「転機」が確かにそこにあったように思います。メタクソに辛かったけれど、でも自分で認識できることは有意義な事です。しかし、これはほんの「プロローグ」にしか過ぎませんでした。

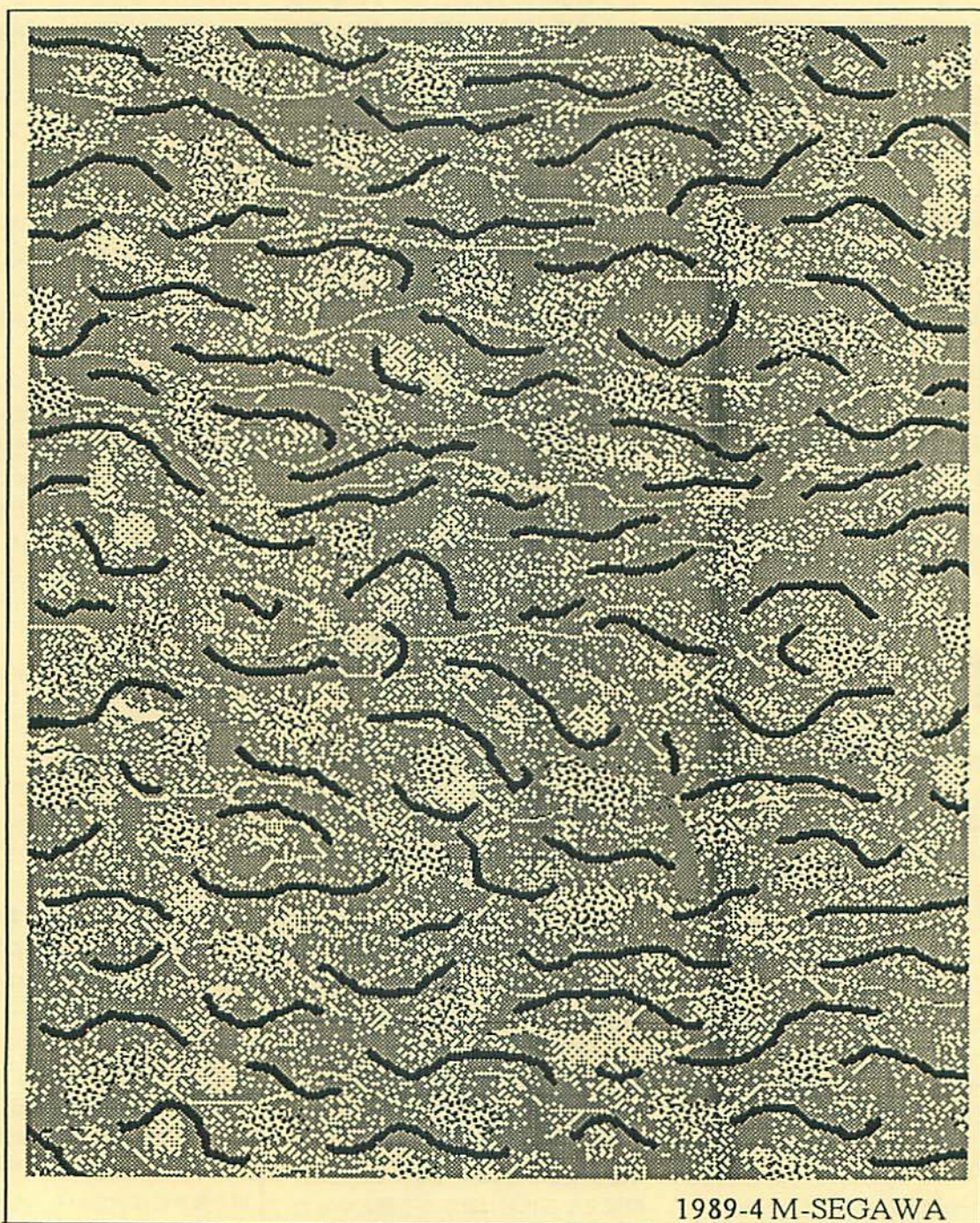
つまり、7年間の空白がアップルを取り巻く環境を変化させていた事に、そしてその環境の変化を認識しないことがその後の「アップルの日本語環境とビジネス」に対して私が徹底的に情熱をそそぐ事になろうとは、私自身全く気付いていなかったのです。

(以下次号)

さてさて、この時点でもまだマックが登場しませんね!次回は「マックとの衝撃的な出逢い」について話は進みます。(名機リサも登場の予定)私は「マック」を中心に据えつつ、皆さん、特にビギナーに「コンピューターの持つ素晴らしさとは?」を伝えたいと考えています。「インターフェイス」は慣れの問題で個人の趣向に委ねられるものだと思いますが、「コンピューターと人間との優しい関係」を語ることは、もしかしたら、それは「思想、文化」を語ることにもなるのでは?と考え始めているからです。最新の情報やテクニカルな事は教えてくれる先輩方がそちらには沢山いらっしゃる事でもあります。

そんな意味で少しでもこのコラムが皆さんのマックライフの参考になれば幸いです。ご意見お聞かせくださいませね。ではまた。

林檎ギャラリー



1989-4 M-SEGAWA

瀬川 昌男 <MASAO-SEGAWA>

私のMacLife

1

あなたはどんな風にマックと付き合っていますか---

今回からスタートする「私のMAC LIFE」はあなたがマックを仕事の強力なツールとして、あるいは趣味のパートナーとしてどんなソフトを使いながら、どう実践的に使っているのかを具体的に紹介していただくコーナーです。

いろいろなソフトの解説もいろいろいいけれど、マックと密接に結び付いた個人の仕事や生活を事情の許す限りそのまま、ストレートに出してもらうことで、どんなソフトの解説書よりも貴重な、そして、初心者から使い込んでいる人までいろいろなヒントが詰まった生きた情報が得られれば、との願いがこもっています。本人には「こんなことは誰でも知っているな」と思うことが実はとても貴重なことだったり、また、「このノウハウはどうだ。この技を見てくれ」と自慢してもらうのも楽しいもの。前置きはこれぐらいにして第一回は東北農業試験場で、日夜、害虫管理などの研究活動にいそむ本多さんの登場です。

東北農業試験場 本多健一郎

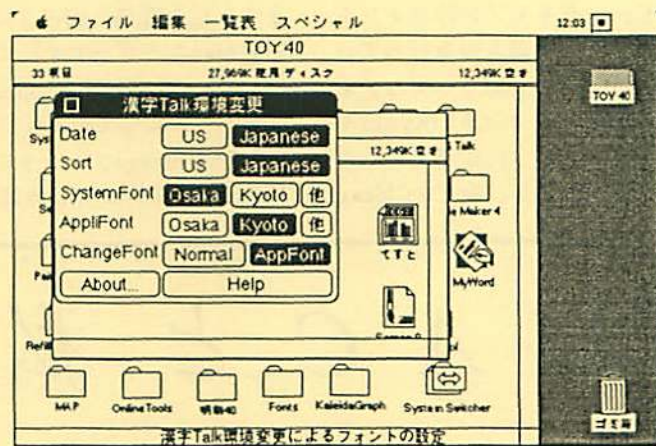
私がMacを購入したのは、今からは一年前の1988年4月でした。私の勤務する東北農業試験場では、農業生産に関する基礎的な試験研究を行っており、様々な実験データを統計処理したり、処理結果をグラフ化して報告書や論文にする作業が日常的に行われています。私自身は、Mac

を買う以前にはこうした処理をNECのPC-9801上で各種のソフトウェア(Multiplan、MS-Chart、一太郎など)を使って行っていました(現在でも試験場の大多数の人は、この方法をとっています)。これらのソフトウェアを使っていて痛感したことは、ソフトウェア相互のデータ互換

手順が複雑で、非常に手間が掛かることでした。特に、一度グラフ作成ソフトで作ったグラフを花子(図形ソフト)に取り込んで手直ししようと、イメージカッターで切りとって見たところ、とんでもなく時間が掛かってとても使う気になれませんでした。その頃、グラフィックに強いというMacの評判が耳に入り、色々なガイドブック(日本実業出版社の入門マッキントッシュが特に参考になりました)を見て検討した結果、Mac Plusの購入に踏み切った次第です。余談ですが、Macの値段は個人で買うには少々高いと感じています。

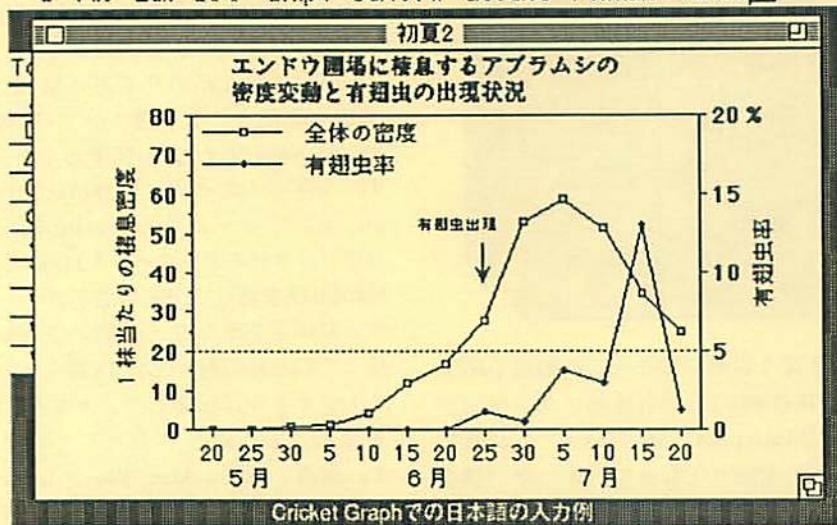
仕事では主にExcel、Cricket Grap、

Stat View、Super Paintなどを使用しています(家では上海やStudio Sessionで遊んでいます)。日本語ワープロは、印字速度と紙のサイズ(職場ではB4を使うことが多い)の関係で、PC-9801の一太郎も併用しています。文字の入力そのものはMacで行い、八戸ファームウェアのPR-Mac(プリンターアダプター)とPDSの原稿印刷DAを使ってNECの漢字プリンターに印字させたり、通信ソフトを使ってRS-232C経由でMS-DOSのテキストファイルに転送して、一太郎の文書にして印刷させたりしています。最近、職場にMac PlusとLaser Writer IISCが入り、日本語の出力もこれを使えば美しく高速に行えるようになりました。特にキャノンの40ポイントフォントをシステムにインス



トールして10ポイントで出力すると、非常に美しい印字が得られます。Kyotoの12ポイントも美しいのですが少し大きい気がするので、私はキャノンのフォントを利用しています。

私の使っているソフトウェアのうち、Excel(1.06J)やSuper Paintなどは日本語の入力が可能ですが、Cricket GraphやStat Viewでは漢字Talkで日本語入力しても文字化けしてしまい日本語の入ったグラフを作りたいときなどは大変困りました。クリップボード経由かPICTファイルに保存して、改めてDraw系のソフトで日本語を張り付けてもよいのです



が、ソフトウェアの切り替えが面倒です。そこで、現在は漢字Talk環境変更というPDSのDAを使って、フォントをKyotoやキャノンのフォントに切り替えて日本語入力を行っています。このDAの欠点はすべてのフォントを設定したフォント (Kyotoやキャノンのフォント) に替えてしまうことです。しかし、なぜかChicag

oフォントだけは設定が可能で、しかもChicagoフォントにして日本語を入力すると、Osakaフォントが表示されます。私の職場の岡田さん (私より古いMacユーザーです) によれば、Osakaフォントは元来Chicagoフォントをベースにしているらしく、Excel 1.5でもChicagoフォントにしておけばOsakaフォントで日本語が表示で

きます。

ところで、私は従来から職場のパーソナルコンピューター (PC-9801やN5200など) を通信ソフトで大型コンピューターと接続し、端末化して利用していたため、パソコン通信にも関心があり、Mac購入の際にはモデムと通信ソフト (EG Talk) も併せて購入して各地のBBSをのぞいて回りました。Macで運営されるBBSは、仙台のShalom Eや千葉のMac Eventなどがあり、PDSをダウンロードさせてもらったり、情報を教えてもらったりしています。ちなみに初めてPDSをダウンロードした時には圧縮されたソフトを展開する方法がわからず、Mac友の会の野村さんに大変お世話になりました。

私の職場 (総勢約250人) のMacユーザーはまだ3名ですが、現在増加しつつあり、Laser Writerの導入によって今後ますます増えそうです。また、機会を見て職場内の他のユーザーにも投稿してもらおうと思っています。

MAC と 私

ロマンあるソフトを子供らに

.... 佐々木俊光

RACTERに夢中になっている。教育相談に来て、RACTERに巡り合ったのである。少年は、RACTERが音声でいつまでも話し相手になってくれることに特に興味を示したみたいである。1度目は、面接の時間の関係でRACTERとの対話は15分間程度で終わった。

2週間後再び少年が訪れた。少年は、RACTERに向かって巧みな指さばきでキーボードを打ち続けた。前回よりも顔色が良くなってきている。

RACTERが少年に希望を与えたとは、短絡的に言うことはできないがなんらかの影響を与えたことは行動から察することができた。

よいソフトに興味を示すのは、この一人の少年だけのことでない。子供たちは、ロマンのあるソフトを望んでいるのである。

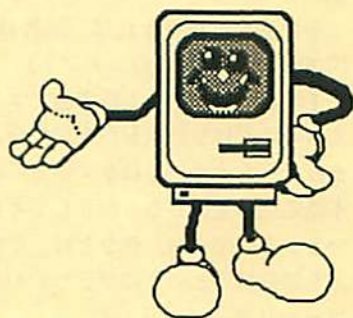
今後、各学校にパソコンが盛んに導入されようとしている。子供たちにコンピュータリテラシーを育てること、更に、CAI、CMI、学校事務など



に活用されようとしている。

私の研究分野は、その中のCAIである。現在CAIの研究先進校では、精力的にソフト開発に努力されている。しかし、開発されたソフトを使用してみるとどうもしっくりしないものが多い。

中学校技術家庭科のCAIソフトを見た。電気回路についての学習用ソフ



トである。懐中電灯の一箇所が錆びていて電灯が点灯しない。その原因をパソコンを使って調べていく内容である。これは、パソコンを使わなければならない学習内容と思われぬソフト内容である。実際に子供たちに、いろいろな原因で点灯しない懐中電灯を与え五感を使って調べさせたほうが技術教育のねらいに合っていると思えるのである。

パソコンを紙と鉛筆の代わりにのツ

ルとして使用するのも良い方法かもしれないが、1時間分のCAIソフトを作るとなると早い人で300時間、平均で800時間かかると言われている。時間の面からだけ考えてみてもCAI教材にする内容は、いろんな条件を十分に吟味してから作成することが大切と思われる。

各メーカーからCAI作成用オーサリングツールが発売されているが、どれも満足できるものといえない。いつでも、どこでも、だれもが、手軽にCAIソフトを作成できるオーサリングツールが必要である。

MacCallは、エクセルやハイパカードなどのソフトにリンクができ、グラフィック機能や学習履歴をうまくカバーしてくれるオーサリングツールである。

私は、このツールを使って子供たちにロマンを与え、知的好奇心を起こさせるCAIソフトを作ってみようという計画である。ソフトの出来、不出来は、

スクリプトで決まる。ハイパカードの機能を駆使することができるならきっと素晴らしい内容のものが出来るであろう。

たとえば、通分の学習用ソフトは、風船に分数がランダムに書かれふわりふわり上ってくる。正しいと思ったときに矢を打つ。正解であれば、風船は破裂する。このようにCAI教材は、詰め込みの内容ではなしにゲーム感覚で学んでいるうちに知識や概念が身につくようにしたいものである。

みなさまの、ご意見ご指導をよろしくお願いいたします。



実質的会員になりたいと思います

....by 望月善次

コンピュータとかワープロとかいうものはウサンクサイものだと思ってきた。食わず嫌いという趣味の問題が半分と、機械音痴という能力の問題が半分であった。

この私の人生(ちょっと、大袈裟です)を一変させたのが、「われらがワープロの師匠、大河原清氏」の〈出現〉である。

それは、正に〈出現〉としか言いようのないものであった。今から4年前の春、氏は何を思ったのか、私をして、突如としてワープロというものに触れさせ、数週間に渡る特訓を施してくれたのである。私とワープロのつきあいは、このときに極まったといえる。「原稿を書く」という生活から、「原稿を叩く」という生活に一変した

のである。

今では、すべての原稿を直打ちで行っている。ワープロの前に座ると、条件反射的に語句が生まれてくるのだというのが最近の実態である。数量的に確かめたわけではないが、「論文」の量は、以前の3倍にはなっているという感じを持っている。本年度は、私の専攻分野(「国語科教育学」という、学校教育における「国語」を考察対象にする若い学問を専攻している)の雑誌の「年間連載」を担当したが、その際も〈ワープロナカリセバ〉の思いは何度か味わった。「大河原思恵現象」の中におかれた幸運を思うのである。

しかるべき理由のある皆さんと違って、私の場合はコンピュータにもさわか

て見ようかなあ、と思ったのも、こうした「大河原思恵」の延長線上にある。

コンピュータについての知識・体験がほとんど無いのにも関わらず(研究室のPC-9801VXもフル稼働の日を待望している)思いきって「マックの会」の会員にいただいた。実は本年度は、マックの会と同じ水曜日に研究室のゼミがあったものだから、それに精力を使い果たしてしまう形となり、例会出席は、いまだ1回だけである。

しかし、4月からは日程を調整し、水曜日を開けることにして是非マックの会に出席したいと思っている。(「林檎」を読むとますますそう思う。)先輩諸兄に色々教えていただけるのが楽しみである。

'89.2.9

MIX Now

by 福田健次

NiftyNowはお休み頂いて、今回はMIX Nowをお届けしましょう。

日経MIXは日経BP社(旧日経マクロウヒル社)が運営している、アメリカのBIXの日本版です。このMIX(BIX)の最大の特長は「電子会議」であるということです。会議と言ってもリアルタイムにやりとり出来るわけではないのですが、メッセージを読みだすときにテーマの関連性に基づいて読めるように工夫がされているうえ、読んだメッセージに対してコメントを付加できますので、樹の枝状に一つのテーマに関する発言が広がって行きます。錯綜する発言をテーマに添って読み書きしようとするこのような工夫はどうしても必要です。

さてこのMIXを利用するには、入会金が5000円(日経バイトの読者は3000円)、月々の基本料金が900円(30分のアクセス料金を含む)、1分あたり20円の経費がかかります。さらに電話代がかかりますが、毎日3分程度アクセスしてMIXが2100円、バケット網の使用料が3000円前後というところでしょうか。あまりうろつかないで、目当ての会議をサッと読みだして抜けるのがコツ。

開催されている会議は膨大な数にのほろほろと、我等がMacに関する会議に絞って紹介しましょう。

Macに関する会議はMac会議とMachw(ハードウェア)会議があります。Mac会議はさらに7つの分科会に、Machw会議は4つの分科会に分れています。

あと、PDSやシェアウェアのライブラリーのlistingsとlistings2というシステムがあって、こちらも充実しています。それぞれの会議はやはりMain分科会が盛んで、Mac/mainなどは1987年9月にオープンして、この3月20日現在で7503のメッセージがアップされています。



私は常時このMac/mainとtipsをのぞいていますが、チョッとサボっていると溜まったメッセージが多くて苦勞するほどです。EGTalkのAuto-Pilotを使用していますから、ログインから分科会を渡り歩いて未読のメッセージを全て読みだして電話を切るまで自動的にやってくれますのでそれほど苦勞はないとはいえ、東京のホストに市外通話を使ってアクセスしていると電話料が大変ですから、バケット網の盛岡ノードを経由しています。DDX-TPとTympasが利用可能ですが、DDX-TPはXmodemが利かない代りに夜間・休日割引がありますし、Tympasは2400ボーが使えてキロバイト単位の課金ですからダウンロードなどでメリットがあり、用途によって使い分けています。

MIXの情報の質、量、早さは特筆もので、Mac関係の雑誌などは顔色をなくします。2月6日にアップされたMacWorldEXPO報告などは19066文字もあり、雑誌の特集記事ぐらいの内容の詳細なレポートでした。

海外出張がある人達があちらのホットな情報を、場合によると現地からアップしたり、メーカーやショップなどにオフラインのネットワークを持っている方が多いようで、開発版のソフトなどのテストレポートやバグレポートが頻繁に載ります。

堅い話ばかりではなくてマックユーザーのウィット溢れる会話が読んでいて楽しいのも特長です。最近のやりとりでは

「**標題：細かいことなのですが**
どうもmac関係の会議は、誤字が目立ちます。

Macの日本語処理が使い物にならない証拠といわれぬよう、気をつけたほうがえんでないかと思ひます。

よくある誤字：

- (1) 基板を基盤と書く
- (2) 並行輸入を平行輸入と書く
- (3) 禁則処理を禁足処理と書く

不注意はよくあることで、こうるさく指摘している私だってよくやります。

そこで、まあ、自戒の念もこめて、提起します。

不注意も 積重ねれば 無神経
(このメッセージへのコメント)

「ふむ。こういった語字当て字が残るのはやはり故人レベルではなかなかむずかしくて、やはりメーカーの日本語処理の基板もしっかりしてくれないとつらいですね。僕などは、平衡輸入や禁則処理というのが正しいんだとばかり思っていました。

不注意も 気が付かなければ 常識かな」

こういう用語使いの話が漢字の誤変換の話題になって行きます。

「MacのFEPの辞書をよく眺めたことないんですが、やっぱり登録単語少ないですか? MacVJEは事情が違うでしょうけど。

武谷舞 自棄た 都鳴りの却は翼花器空 謹だ

「やけ」で「自棄」がでるのがすごいなあ。」

解説すると「たけやぶ やけた となりのきゃくはよくかきくう きゃくだ」を変換したらこうなったという話です。さらに

「単後登録もそうですけど、文包解籍が不十分だとおもいます。とくにターボ実父の文法懐石はまだまだのようですね。MacVJEは文法会席はまだいいのですが、ユーザーインターフェースが今市なので困ります。変換のためのウィンドウがどの場所にも動かせるのはいいんですけど、、、」とニンマリしながらも、まともな話が展開してゆきます。このあとの5日間FEPに関して様々な発言が合計31個もアップされるという案配です。

この間、約100個の発言がアップされていますから、別の議題が新たに発生して、それに対する発言も同時に展開されているわけです。

一方、tipsは裏技やパッチのあて方など具体的に詳細な情報があります。例えば漢字Tak6.0でマルチファインダーを動かすパッチとか。これだけでもアクセスする価値があると思いませんか?



茶房

私は、まだあれをやっています

藤村 洋

「まだあれをやっているのですか？」
としばらく振りの友人から尋ねられる
ことがあります。「まだ」という
副詞が必ず付くのです。スキーやテ
ニスやゴルフをしている人に「まだ」
を付けて尋ねたりしないだろうなど
いつも心のなかで思っています。こ
んな聞き方になるのも世間一般でそ
れを危険なスポーツ（むしろ冒険）
としてとらえていることの現われな
のでしょう。そうです。「僕は、ま
だ、ハンググライダーをやっ
ています。」

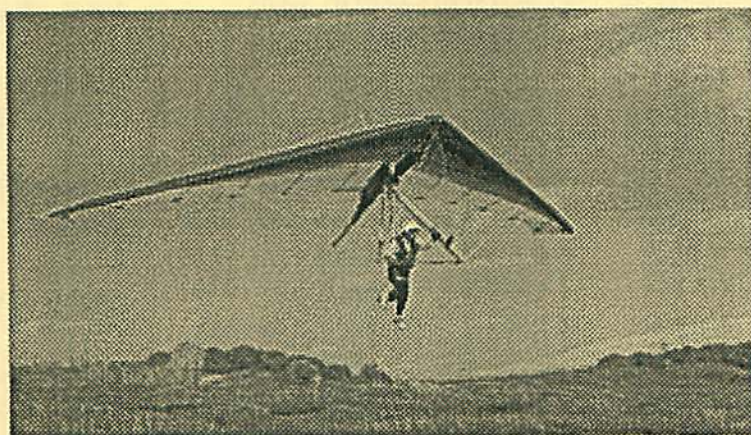
小さい頃から山が
好きでした。地図を
見て近くの山に登り、
眼下の景色をよく眺
めたものでした。ま
た、凧上げなども好
きで、学生時代、昼
休みに学校の屋上で
よく揚げたもので
した。高いところが
好きで空に憧れてい
ました。社会人にな
って2年目、県内で
ハンググライダーの講
習会があることを知
りすぐ飛びつきました。それ以来飛
び続けていますのでキャリアとして
は7年になります。

岩手県のハンググライダー愛好家
の数は約40人です。有名な飛行場
所（エリアと表現します）として室
根村の室根山をご存知の方が多いと
思いますが、現在は遠野市が中心
になっています。日曜日には5~1
0人が集まり、空の散歩を楽しんで
います。また、盛岡市周辺では雫石
町の七ツ森で飛んでいます。標高差
150メートルの低い山ですが気軽

に楽しめるエリアです。岩手山から
駒ヶ岳までの大パノラマがとても素
晴しい所です。

ハンググライダーの魅力は何で
すかと聞かれることがあります。それ
は、ズバリ「自然に溶け込んで
自由に手軽に空を飛べる」と
いうことです。誰でも1度は空を飛
んで見たいと思ったことがあると思
います。それを真っ先に実現する方
法がハンググライダーなのです。

ハンググライダーにはエンジンが
ありません。しかし1時間~2時間



遠野市高清水エリアから大空へ向かって離陸した瞬間

の飛行は可能で、よく行われている
ことです。飛行するためのエネ
ルギー源は上昇気流なのです。で
すからフライヤーは風を大切にしま
す。そして天気の変化に注意し、山
の地形を観察します。自然と仲良く
し、そして自然に溶け込んでフラ
イトを楽しんでいます。したがって、
どのような条件のときにどんな上
昇気流が発生するのかを知り、実際
に予測することが大切になります。

ハンググライダーは翼を付けた人
間が風を切って飛ぶ訳ですから、同

じ空を飛ぶものでも軽飛行機や、ジ
ャンボジェット機とでは根本的に違
います。自分自身が自分の意思で自由
に飛んでいるという実感があります。
旋回したければ曲がりたい方に体重
を傾けるだけです。そしてスピード
を出したければコントロールバーを
引き、スピードを落したければ押し
出します。3次元の空間を自由に
飛び回るスポーツであるとい
えます。

ハンググライダーは左右約10メ
ートル、前後約2メートルの大きさ
で、重さは約25~30キログラム
です。そばで見るとかなり大きい
感じがします。車で運搬するわけ
ですが、分解すると長さ約6メ
ートルのじゅうたんを丸めた形に
なります。ですから乗用車にちょ
っと丈夫なキャリアを付ければ簡
単に運搬できます。この手軽さも
ハンググライダーの魅力の一つ
です。

春になり僕のフライト歴8年目
がスタートです。実際にフライト
し続けてみて、ハンググライダー
は冒険ではなくスポーツである
ことがよく解りました。自然に
対して傲慢にならず、そして自
分を過大評価せず謙虚にフラ
イトするならば、ハンググライ
ダーは危険な冒険ではなく、む
しろ生涯のスポーツとして楽し
んでいけるものと確信してい
ます。そうです。「僕は、これ
からも、ハンググライダーを
やっていくでしょう。」

今回は、何にしようかといういろいろ考えてみましたが、記念すべき会報「林檎」第1号誕生の喜びの声をお送りすることにしました。

会報完成までの経過も披露しようと思いましたが、いかんせん、与えられたスペースには入りきれませんでした。残念。

◎ 10ZZ0035 89.02.02, 03:19
会報が出来ました!!!

会報がやっと今日できあがりしました。お約束通り14ページ建てとすることができました。8日の例会で配布します。今度の例会は絶対に休めませんよ!また、杉村さんが会報を持っているので、それまで待てない人は南大通りの木津屋さんに聞いて下さい。評価はいろいろあるでしょうが、編集スタッフが全力をあげて作成したもので、何とか合格点をいただければ嬉しいのですが...

一気に片付けて打ち上げといきたかったのですが、さすがにそうは問屋がおろさなくて、結局、12時を大分すぎしてしまいました。でも、何とか、発刊にこぎつけることができ、編集長代行としてはホッとしてるところです。スタッフの方々、お疲れ様でした。ありがとうございました。また、原稿をお寄せくださった会員の皆様ご協力ありがとうございました。それから、会場を快く提供してくださった木津屋さん、つまり、杉村さんには本当にお世話になりました。こうした皆様のご支援とご協力がなければこの会報は出来なかったことと思います。本当にありがとうございました。それから、花巻から駆けつけ、中心的に編集作業をこなし、ご飯を食べに行く

のもつき合ってくれ、深夜2時すぎまで頑張っていたいただいた徳富さん、ご苦労様でした。

いろいろ反省点も含め、書きたいことはあるのですが、今日はもう遅くなりましたので、また、後日あらためて。

それにしても、会報が完成した時に野村さんがもってきたカルフォルニアワインで祝杯を上げましたが、格別の味でした。この会の会報が初めて誕生した最高の夜に乾杯!!!!!!

あらかき。

◎ 90MAC015 89.02.02, 04:03
まだ興奮が冷めやらなくて。

「林檎」を通して極めて短期間のうちに、ずいぶん多くの事を学びました。共同作業でMacを使って仕事をしたのは初めてでしたので、得難い収穫がたくさんありました。有難うございました。普段ワープロ代わりに使っていたRSGでしたが、ほとんどワープロとしての機能しか知りませんでした。DTPとしての便利な機能を菅野さんにいくつも教えていただけたことも大きな収穫でした。

まだまだこれからの徳富でした。

◎ 90NOMURA 89.02.02, 12:45
やった!!!!!!

ついに昨日記念すべき会報の創刊号が完成しました。

誕生はFeb.1st 1989,1:00 AMです。私の好きなJAZZで言えば、さしずめOne O'clock Jump!といったところですね。

初めての編集作業に悪戦苦闘した編集スタッフの皆様、本当にご苦労様でした。ならびに原稿執筆を引き受けていただいた方々、ご協力ありがとうございました。

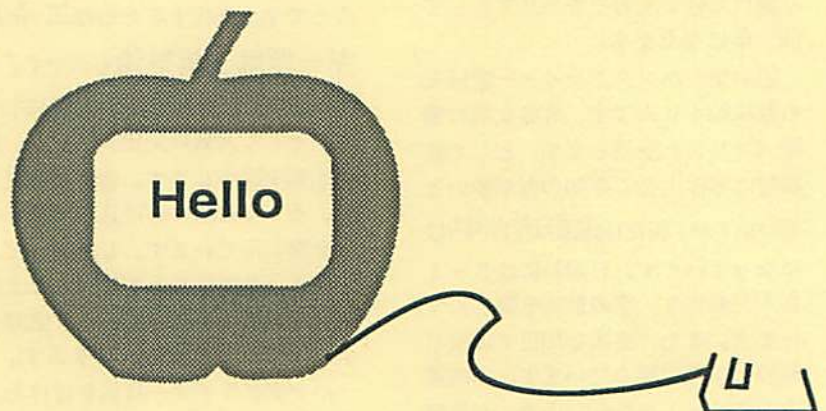
この歴史的な瞬間に立ち合ったおかげで、産みの苦しみと、誕生の喜びをスタッフと分かち合うことができ、本当に嬉しい経験をしました。

8日の例会には皆さんにお渡しいたします。また例会に来れなかった方には、郵送でお送りいたします。

早く皆さんの反応が見たくてウズウズしている 野村でした。

◎ 90MAC005 89.02.02, 16:09
会報完成おめでとう

本当にご苦労さまでした。ボードの書き込みを見ているだけで、皆様の嬉しさに輝く顔と涙の跡が見えるようです。R. S. G 4(3?)で編集なさったようですが、分担してやったとしたらその後の統一と打ち出しも大変だったと思われます。



編集委員の方々はこれでR.S.G使いに成られたわけで、2,3回目と欠席してしまった私は、また一つアプリを修得する機会を失ったわけです。製本というか紙折の作業も猫の手も借りたかったことでしょう。

猫にもなれなかった私は罪滅ぼしに今度の例会にネコというDAをもって行くことにしましょう。なにはともあれ記念すべき会報の完成を祝って、バンザイ。

◎ 90MAC026 89.02.05, 22:27
会報楽しみです

会報の完成、おめでとうございませう。今度の例会、楽しみです。本当にご苦労さまでした。

何のお手伝いも出来ずに悔やんでおります。次回は必ず参ります、と言っても私に出来るのは紙折り位なものです。……

言い訳が許されるなら（勝手に書き出していますが）2月1日付けで勤務先の人事異動があって（私も辞命をもらいました）、今回は機構改革も含んだので事務室のレイアウト変更も伴い今日やっと電話工事を終わらせました。（内線電話番号管理も電算室の分担なものですから）

ボードを覗いたのも1週間振りです。花巻から盛岡に通勤していると、1日2時間は通勤時間に取りれますので、平日は寝に帰るようなものです。

でも8日は絶対に例会に行きませう。

勝手な事ばかり書いて、それでも何とか皆について行きたい 照井です

◎ 90MAC013 89.02.09, 22:19
会報を読みました

8日の例会は、都合により欠席し「会報」は郵送していただきました。思った以上の出来栄で、ただ

感心しています。本当にスタッフの皆さんご苦労さまでした。

編集のレイアウトといい、コラム、イラストどれをとっても玄人です。マックオンリーと思いきや、佐藤さんの「高山植物」のお話など、大変読ませる内容だと思います。創刊号にエネルギーを費やし、次号は軽くなるのでは、と心配しています。

折角ですので、私の気づいた点を幾つか。

どんなソフトを使用し、ハード(特にプリントアウト)はどういったものが用いられたのか、片隅に解説があればと思いました。また、写真の効果(スキヤナ)が思ったよりいまいちの気がしました。

とにかくマックのない友人にも一度は紹介したい会報ですね。本館でした。



◎ 90MAC003 89.02.10, 16:58
会報が届きましたよ!!Good!

「林檎」と名の付いた会報が昨日、手元に届きました。同人誌、しかも素人集団（失礼！敬意の念を込めての話ですから。）の手掛けたものとしては最高の部類に入る出来だと思えます。米国のマックユーザーやマックマガジンなどもこうした薄っぺらなものからスタートした事を考えると期待感が大きく今後の展開がとても楽しみです。

今後の展開について期待することは、本場の考え方を学んだ構成になってくれれば……という事です。最新の情報ばかりではなく、例えば「Plusをこうするともっと便利になる。」といった内容で古い機種を持っているユーザーにとっても有意義であるように展開して欲しいのです。また、コンピューターに関係している事は当然としても、マニアックでない記事も載せて欲しいなあと思います。

ちょっとマックに興味があって、手を出せないでいるユーザーにも歓迎してもらいたい……それは基本的に素晴らしい仕上がりになっているからこそその話なのですが。

ここまで作られるのには編集部の方達も大変なご苦労だとは思いますが、小さなコラムを担当させて戴いている関係もあり、本当に頑張っ欲しいと思います。書くほうもやりがいがある……というものです。

編集にかかわった皆様にそれぞれメールでお祝いを言いたいのですが、この掲示板のメッセージで換えて戴ければ幸いに思います。

日本のマック関係の雑誌より最高だぜい！！
中島

第1号完成の喜びの声をお伝えしました。

さて、この第2号の出来はどうでしょうか？

残念なことに、荒木編集長は第1号の編集をもって引退ということになってしまいました。

東京へ行っても、BBSを通じて会えることを期待しましょう。



余計なお世話 ...by 齊藤 武

今回は、あまり見たことのない
「マックのマニュアル」

を、ひっくり返してみました。
Finder上で「Shift+⌘を押しながら...
する」ということについて「余計なお
世話」してみたいと思います。

Shift+⌘+1 : 内部FDのEJECT。
マウスを使わずにキー操作だけで、本
体内部のフロッピーディスクを取り出
せます。

Shift+⌘+2 : 外部FDのEJECT。
同様に外部フロッピーディスクをマウ
スなしで取り出せます。

Shift+⌘+3 : keyを押した時の
Screenを、MacPaintの書類として作り
出してくれます。したがって後から
MacPaintなどを使って自由に加工する
こともできます。

雑誌やマニュアルや「林檎Vol.1」
見ているといろんな画面の「挿絵」が
出てきます。あれを見て「一つずつ
MacPaintか何かで作ってるんだべ
が?」と、思っている方はいらっしや
いませんか? まあ、1画面ずつ作って
出来ないことはないでしょうが、
「Shift+⌘+3」でやるのが簡単です。

ただ、プルダウンメニューを開いた
状態では実行されません。プルダウン
メニューを開いた状態の絵が欲しいと
ときには、CameraというDAが役立ちま
す。これにはセルフタイマーがついて
いて、セットした時間が経つとシャッ
ター (Shift+⌘+3) を押してくれま
す。Macの前で微笑んでください。

Fileは10個まで作ることができ、そ
の名前は自動的に、Screen0~Screen9
と付けられます。その格納場所はその
時使っているSystemFolderが入ってい
るディスクの、SystemFolderと同じ階

層です。

Shift+⌘+4 : 「Shift+⌘+3」とは
違ってScreen全体ではなく、その時選
択されてるWindowだけを、そのまま
プリンターに印刷 (HardCopy) しま
す。また、CapsLockして (= カナキ
ーを押した状態) で操作すると、
現在のScreenをプリンターに印刷しま
す。

File	
New Folder	⌘N
Open	⌘O
Print	
Close All	⌘W

Get Info	⌘I
Duplicate	⌘D
Put Away	

Put Away (元に戻す)

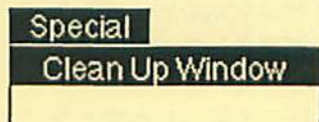
「ごみ箱に捨てたFile」や
「FindFileでMove to Desktop (デスク
トップに移動) をおこなったFile」を
元あった場所に戻すときに使います。
元のFolderをOpenして引っぱっていく
必要はないのです。

Option+ (Folder/Disk Open)

その中のアプリケーションを終了し
てFinderに戻ったとき、開いたFolder/
DiskがCloseされます。

Option+Close : 現在開いて
いるWindowを全てCloseします。「
Option+ (Close Box Click)」でも同じ
ことができます。

⌘+(Icon Drag) : ⌘を押しま
しながらIconをDragするとSpecialMenuの
Clean Up Selection (項目の整頓) を
行ったときの位置にボンボン移動しま
す。Iconをきれいに並べなければ気の
すまない方には便利かと思えます。



(書類のSelect)+Print :
選択した書類のアプリケーションを起
動し、その書類の印刷をします。書類
は同じアプリケーションで作成したも
のでなければダメなようです。書類を
たくさん作っておき、後でまとめて印
刷するとき便利です。(連続用
紙やカットシートフィーダーが無い
と、ちょっと大変かも...)

~~~~~

アプリケーション上でもShift/Op  
tionを押しながらプルダウンメニュー  
を出して見ると、いつもと違う奴が出  
てくることがあります。(例えばエク  
セルのEditMenuで"Copy"が"CopyPic  
ture"になります)

「こんなことでぎねべが?」と思っ  
たときには、色々いじくっているうち  
に「なんだ! できるじゃねが」となる  
こともあります。面白い奴を見つけた  
ら一人で喜んでいずにみんなに公開し  
ましょう。

## 編集後記

◎軽はずみに編集長を引受てしまったうえに、これから本格的なスタートという時に東京に行ってしまうことになり、本当に残念かつ申し訳ない気持ちで一杯です。でも、会報の編集をやってよかったと心から思っています。その作業を通じて多くの友の会の人々とお友だちになれ、昨年12月にSEを買ってからわずか4カ月の間にかけての仲間ができたことは自分でも信じられないほどです。東京にいましたら、中島さんもいることだし、是非、IMFの支部を開設したいと思っています。皆さんとは空間的には離れることとなりますが、盛岡市のBBSを通じていつもすぐそばにすることができます。そして、気持ちは今でも一緒に盛岡にいます。皆さん、本当にありがとうございました。東京にお越しの際は是非、ご連絡ください。お待ちしております。(荒木)

◎創刊2号にしてここまでできては、ちょっとできすぎなのではないでしょうか。振り返ってみれば、荒木さんの意気込みにつられて、皆で一気に駆け上がってきたという感じがします。本当にありがとうございました。

自分など、とても荒木さんの代りが勤まる器ではないのですが、幸い「林檎」が既にここまで完成しておりますので、荒木さんが敷いて下さったレールに乗って野村会長やBBSシスオベの佐々木さんと皆さんに、押し引きしたり、抑え込んだりしていただきながら、走り始めることになりました。

皆様方には、ご意見ご感想、ご指導ご鞭撻を賜われますよう宜しくお願い申し上げます。編集後記に代えさせていただきます。(徳富)



## 会員名簿

|                    |        |                         |              |
|--------------------|--------|-------------------------|--------------|
| Dick Harry         | 020    | 盛岡市大沢川原2-3-37 (善賢館)     | 0196-54-1211 |
| Evelyn Harry       | 020    | 盛岡市大沢川原2-3-37 (善賢館)     | 0196-54-1211 |
| Richard L. Lammers | 020    | 盛岡市館向21-22              | 0196-22-1505 |
| 浅田 昌彦              | 029-52 | 和賀郡和賀町岩崎17-62           | 0197-73-7230 |
| 浅沼 清智              | 025    | 花巻市上小舟渡156-23           | 0198-23-2426 |
| 浅野 恵治              | 025    | 花巻市桜台2-1                | 0198-24-9337 |
| 荒木 健次              | 164    | 東京都中野区野方1-41-1-302      | 03-5380-0417 |
| 伊崎 誠一              | 020-01 | 盛岡市東黒石野2-8-15           | 0196-63-1199 |
| 大河原 清              | 020-01 | 滝沢村13菓子1552岩大宿舎B2-2     | 0196-88-3371 |
| 沖野 覚               | 028-57 | 二戸市金田一字馬場119-3          | 0195-27-4282 |
| 小沢 徹               | 020    | 盛岡市上田4-18-33いわて荘103     | 0196-52-5642 |
| 桂川 茂彦              | 020    | 盛岡市内丸19-1岩手医大 放射線科      | 0196-51-5111 |
| 兼平 信一              | 020-01 | 盛岡市前九年3-13-66           | 0196-47-2833 |
| 菅野 卓矢              | 020    | 盛岡市菜園2-8-35             | 0196-22-6454 |
| 鶴谷 朋也              | 020    | 盛岡市中太田官台47              | 0196-59-1750 |
| 香城 孝廣              | 020    | 盛岡市天神町4-8 天神コート103      | 0196-23-2184 |
| 斎藤 武               | 020    | 盛岡市本町通3-13-30           | 0196-52-5971 |
| 斎藤 怜               | 020    | 盛岡市神明町6-6-401           | 0196-24-5855 |
| 佐々木 幸司             | 020    | 盛岡市梨木町3-10              | 0196-25-0296 |
| 佐々木 俊光             | 023-03 | 胆沢郡胆沢町小山字南長権63-36       | 0197-47-0388 |
| 佐藤 護人              | 020    | 盛岡市那須川町28-11            | 0196-24-1388 |
| 猿橋 浩昭              | 020    | 盛岡市本宮泉屋敷17-1コーポガサワラ1号室  | 0196-34-1327 |
| 渋谷 誠               | 020-01 | 盛岡市上堂1-12-13コーポむつみE     | 0196-45-3442 |
| 菅原 健蔵              | 020    | 盛岡市茶畑2-3-10             | 0196-51-4660 |
| 鈴木 是光              | 020    | 盛岡市大慈寺町7-7              | 0196-51-3860 |
| 瀬川 昌男              | 020    | 盛岡市山岸3-7-27             | 0196-62-3843 |
| 戦場 博和              | 020    | 盛岡市三ツ割1-1-6             | 0196-51-3111 |
| 高島 浩一郎             | 020    | 盛岡本町通3-20-25、409        | 0196-54-5410 |
| 高橋 晃               | 020    | 盛岡市加賀野2丁目4-1-108        | 0196-53-6258 |
| 武元 伸次              | 020-01 | 盛岡市青山3-25-2-202         | 0196-47-4163 |
| 田中 慶司              | 020    | 盛岡市加賀野1-9-40            | 0196-22-5510 |
| 谷藤 幸夫              | 020-01 | 盛岡市上田堤2-27-21           | 0196-61-0669 |
| 照井 芳夫              | 025    | 花巻市上根子字谷地180            | 0198-23-4571 |
| 徳富 亘               | 025    | 花巻市愛宕町3-19              | 0198-24-3647 |
| 中居 賢司              | 020    | 盛岡市上田堤1-12-14           | 0196-61-8408 |
| 中島 順               | 270-01 | 千葉県流山市西深井393 江陽台病院      | 0471-53-2555 |
| 西島 光茂              | 020    | 盛岡市上田1-19-11            | 0196-24-5855 |
| 野村 行憲              | 020-01 | 盛岡市月が丘1-1-36            | 0196-46-0413 |
| 平野 三千代             | 020    | 盛岡市上田2-7-29             | 0196-24-1744 |
| 福田 健次              | 020-01 | 盛岡市青山4-25-12            | 0196-47-7871 |
| 藤村 洋               | 020-01 | 盛岡市上田堤2-6-18            | 0196-61-4854 |
| 本多 健一郎             | 020-01 | 盛岡市下野川字赤平4 (東北農業試験場)    | 0196-41-6804 |
| 米谷 則美              | 020    | 盛岡市本町1丁目 (ファミリー吉田80)    | 0196-53-1627 |
| 真館 貞治              | 020    | 盛岡市三割2-7-5              | 0196-62-7586 |
| 松倉 拓次              | 020    | 紫波郡都南村永井24-25-15        |              |
| 三浦 一之              | 020    | 盛岡市緑ヶ丘2-3-23            | 0196-63-1733 |
| 三浦 吉範              | 020    | 盛岡市三割2丁目16-27           | 0196-61-0127 |
| 三田 光男              | 020    | 盛岡市若園町3-25              | 0196-25-5284 |
| 村川 寿               | 277    | 千葉県葛飾郡沼南町大津ヶ丘3-17-7-106 | 0471-93-0272 |
| 望月 善次              | 020    | 盛岡市高松4丁目17-19           | 0196-61-7504 |
| 本館 康司              | 025    | 花巻市不動298-2              | 0198-23-6944 |
| 森 貞吉               | 020    | 盛岡市住吉町4-8               | 0196-22-2659 |
| 山本 淳               | 020-01 | 盛岡市青山2-1-4              | 0196-47-0322 |
| 吉田 新二              | 020    | 盛岡市梨木町2-13              | 0196-52-1861 |
| 吉田 稔               | 020    | 盛岡市浅岸字中道21-11           | 0196-24-2625 |
| 吉村 弦               | 020    | 盛岡市北山1丁目5-37            | 0196-23-5752 |

誤り・訂正などがありましたら御連絡くださいね。



1989/4/12 創刊第2号  
発行 岩手Mac友の会  
代表 野村行憲  
盛岡市月が丘 1-1-36  
Phone 0196-46-0413

---

---